

市町村名	名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	地域と子どもたちが音楽でつながる楽器整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア
担当部課名	教育委員会	学校教育課	事業実施年度	平成29 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-3-(1)
事業内容	吹奏楽部の楽器が不足しており、十分な練習活動ができない状況にある。部員の音楽に対する意欲の向上を図るため、市内小・中学校に楽器を整備する。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度				合計
	A. 予算現額	76,127				76,127
	B. 執行済額	74,563				74,563
	うち 交付金充当額	59,650				59,650
	執行率(%) (B/A)	97.9%				97.9%
執行状況の説明	不用額1,564千円については、備品購入費による入札残額である。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況			
			H29年度			
	楽器の購入	目標	購入			
		実績	購入			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況			
			H29年度			
	楽器の整備	目標	整備			
		実績	整備			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	楽器の配置によって部員の音楽に対する意欲が向上したか(アンケートによる)	目標				80.0%
		実績				98.0%
		目標				
		実績				

状況説明

【H30年度】  
・楽器の配置により、大会やイベントへの出場等で部員の音楽に対する意欲が向上したのが見られる。

【 年度】  
・

【 年度】  
・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

【H30年度】  
・生徒の意欲向上が見られることから事業の効果が適切に発揮されている。  
・部活動、クラブ活動のみならず、地域住民とのイベントでの活躍が見られる。

【H30年度】  
・アンケート継続して行うことにより、新入生、赴任した教員に事業導入の意義を周知することにより、積極的に活動を実施するとともに、楽器の適切な管理を図る。

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【H30年度】  
・各学校における楽器の管理状況についての確認調査を実施していく。  
・楽器の購入・整備によって部員の音楽に対する意欲が向上したかアンケート調査を実施する。

市町村名	名護市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	やがじ夢の懸け橋事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ	
担当部課名	地域政策部	屋我地支所	事業実施 年度	平成 27	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	屋我地地域において、地域観光産業の振興や定住促進を図るため、同地域におけるツーリズムに関する地域振興計画を策定するとともに、民泊事業者と連携したモニターツアー、ワークショップ等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度		合計	
	A. 予算現額	4,200	4,774	6,480		15,454	
	B. 執行済額	4,177	4,754	6,447		15,378	
	うち 交付金充当額	3,341	3,803	5,158		12,302	
	執行率(%) (B/A)	99.5%	99.6%	99.5%		99.5%	
執行状況の説明	執行率が各年度とも99%以上となっており、適正に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度		
	モニターツアーの実施	目標	実施	2回	1回		
		実績	実施	1回	1回		
	ワークショップ実施	目標	3回	4回	4回		
		実績	4回	3回	2回		
振興計画の着手	目標			実施			
	実績			実施			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度		
	モニターツアーの参加者(旅行者等)	目標	5社	30名	16名		
		実績	7社	11名	7名		
	ワークショップの参加者	目標	90名	60名	60名		
		実績	45名	45名	59名		
振興計画の策定完了	目標			1件			
	実績			1件			

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度		R3年度 目標/発現年度
	修学旅行受入校数	目標	—			
	実績	83校				
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【H30年度】 ・修学旅行生の民泊の受入については一定の受入数はあるが、修学旅行等の誘致を拡大できるプログラムが少なく、目標達成には至っていない。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【H30年度】 ・本事業で策定した振興計画に基づき、魅力的な体験プログラムを開発することで、継続的に修学旅行の誘致を図っていくため、地域資源を活用した体験施設整備を進めることに繋がった。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【H30年度】 ・民泊事業者との連携を図りながら、地域における観光メニューの企画、実施や、整備を進めている体験施設を有効に活用できる団体等の体制の確立が必要である。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【H30年度】 ・体験施設整備を進め、地域における魅力ある共通体験プログラムとして確立を図り、修学旅行生等の誘致を図る。 ・施設整備後については、民泊事業者との連携を図りながら、施設を有効に活用し運営できる団体等へ指定管理を行う。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
--

市町村名	名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	名護市21世紀の森ビーチ整備促進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ
担当部課名	建設部	維持課	事業実施年度	平成29 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	ハブクラゲによる咬傷被害の防止を図るため、侵入防止ネットの機能強化を実施する。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度				合計
	A. 予算現額	3,111				3,111
	B. 執行済額	2,687				2,687
	うち 交付金充当額	2,149				2,149
	執行率(%) (B/A)	86.4%				86.4%
執行状況の説明	指名競争入札を実施した結果、424千円の不用額が生じたが、当初計画どおり事業を執行した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H29年度			
	ハブクラゲ侵入防止ネットの購入	目標	購入			
		実績	購入			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H29年度			
	ハブクラゲ侵入防止ネットの機能強化	目標	機能強化			
		実績	機能強化			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	ハブクラゲによる被害者数	目標				0人
		実績				2人
		目標				
		実績				

状況説明

【H30年度】  
 ・ハブクラゲの被害者数を0人を目標に行っていたが、2人の被害者がでた。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・ハブクラゲ侵入防止ネット外でのハブクラゲの目撃情報は多数あり、機能強化したことにより侵入を防げていたと推察できる。ただし、侵入防止ネットのみでの侵入を防ぐことができず、2件の被害がでた。	【H30年度】 ・今後は被害数をゼロにするため、ハブクラゲ侵入防止ネット内の巡視確認の強化に努める。

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【H30年度】  
 ・被害0を目指して巡視確認の強化や委託業者との連携を行う。

市町村名	名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	豊原・久志地区光ケーブル地中化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ
担当部課名	商工観光局	経済金融活性化特区推進室	事業実施年度	平成29 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-12-(3)
事業内容	台風等の災害時において、光ケーブルの切断を防止するため、みらい3号館からみらい4号館の区間に、光ケーブルを地中化するための地下管路を整備する。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度				合計
	A. 予算現額	55,577				55,577
	B. 執行済額	55,392				55,392
	うち 交付金充当額	44,313				44,313
	執行率(%) (B/A)	99.7%				99.7%
執行状況の説明	執行率が99%以上となり、適正に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況			
			H29年度			
	地下管路の整備 L=860m、新設マンホール5基	目標	地下管路の整備 L=860m、新設 マンホール5基			
		実績	地下管路の整備 L=851m、新設 マンホール4基			
			目標			
			実績			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況			
			H29年度			
	みらい3号館・みらい4号館の2施設を結ぶ 地下管路の整備	目標	地下管路の 整備完了			
		実績	地下管路の 整備完了			
			目標			
			実績			
		目標				
		実績				

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	みらい3号館、4号館の光ケーブルの断線回数	目標					0件
		実績					0件
		目標					
		実績					
状況説明	【H30年度】 ・民間及び行政系通信事業者による地下管路への光ケーブル敷設 ・平成30年度以降のみらい3号館、4号館の光ケーブルの断線回数 0件  【 年度】 ・  【 年度】 ・						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・H30年度の光ケーブルの断線回数は0件であり、施設の安定的な運営がなされた。  【 年度】 ・  【 年度】 ・	【H30年度】 ・引き続き光ケーブルの断線回数を0件を目指す。 ・大型台風及び大雨などの災害発生時には、民間及び行政系通信事業者及び施設を管理する特定非営利法人NDAと連携し確認を行う。  【 年度】 ・  【 年度】 ・

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【H30年度】 ・今後も引き続き光ケーブルの断線回数0件に努め、施設の安定的な運営を目指す。 ・引き続き非常時の体制を確認し、問題が発生した場合には早急に対処する。  【 年度】 ・  【 年度】 ・
--

市町村名	名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	名護市超高速通信サービス整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア
担当部課名	地域政策部	企画情報課	事業実施年度	平成28 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-2
事業内容	超高速ブロードバンドサービスによる久辺地域の利便性の確保のため、超高速ブロードバンド環境の整備に対し補助を行う。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度			合計
	A. 予算現額	2,636	30,550			33,186
	B. 執行済額	2,603	30,550			33,153
	うち 交付金充当額	2,082	24,440			26,522
	執行率(%) (B/A)	98.7%	100.0%			99.9%
執行状況の説明	平成28年度は基本設計のみ実施し、平成29年度は詳細設計と整備工事を実施した。執行率が98%以上となっており、適正に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度	H29年度		
	基本設計の実施	目標	実施			
		実績	実施			
	超高速通信サービス環境の詳細設計の実施	目標		実施		
		実績		実施		
超高速通信サービス環境の整備工事の着手	目標		着手			
	実績		着手			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H28年度	H29年度		
	基本設計の完了	目標	完了			
		実績	完了			
	超高速通信サービス環境の詳細設計の完了	目標		完了		
		実績		完了		
超高速通信サービス環境の整備工事の完了	目標		完了			
	実績		完了			

**事業完了後の取り組み**

成果目標(指標)	達成/進捗状況				
					H30年度 目標/発現年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標				20.0%
	実績				26.9%
久辺地域における超高速ブロードバンドサービス利用率	目標				
	実績				

事業完了後の成果目標	【H30年度】 ・県事業で実施している国頭村の契約件数割合が約18%(425件/2,373世帯 H30.1月末)であることから、それを上回る20%を成果目標として設定した。
	【 年度】 ・
	【 年度】 ・

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【H30年度】 ・事前に説明会等を実施していたので、地域の金融・IT企業の利用が順調であったため想定より高い加入率となった。  【 年度】 ・  【 年度】 ・	【H30年度】 ・加入状況について、委託業者と定期的に情報交換する機会を設けており、状況を把握するとともに、企業誘致で立地した金融・IT企業への事業紹介を積極的に行っていききたい。また、委託業者と協力して地域住民への広報等を行っていききたい。  【 年度】 ・  【 年度】 ・
---	--

**支援班上原:**  
 住民の利用率はどうなっているのか。  
 回答: 地域における加入者数は報告を受けてますが、それが法人なのか住民なのかまでは情報提供できてませんので、この表記となっております。

**今後の取り組み方針**(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】 ・企業誘致で立地した企業は、みらい館の指定管理者が把握しているので、定期的に情報提供を行うとともに、新規の企業立地の情報を提供いただけるよう取り組んでいきたい。  【 年度】 ・  【 年度】 ・
---

市町村名	名護市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	水難救助車等整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(ア)			
担当部課名	消防本部	警防課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)
事業内容	近年増加するリゾートホテルや海上レジャー等における市民や観光客等の水難事故等に迅速に対応するため、水上バイク、牽引車、トレーラーを整備し、初動対応の体制を強化する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度				合計	
	A. 予算現額	17,655	48,898				66,553	
	B. 執行済額	17,654	47,304				64,958	
	うち 交付金充当額	14,123	37,843				51,966	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	96.7%				97.6%	
執行状況の説明	事業の計画通り、予算を執行した。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
			H28年度	H29年度				
	水上バイク・牽引車両・トレーラー購入(各2台)	目標	各2台購入					
		実績	各2台購入					
	水難救助車両の購入	目標		1台購入				
		実績		1台購入				
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
			H28年度	H29年度				
	水上バイク・牽引車両・トレーラー 各2台の 配置(消防本部、出張所)	目標	各2台を配 置					
		実績	各2台を配 置					
	水上バイクによる水難救助体制の強化	目標	強化					
		実績	強化済					
消防署への水難救助車両の配備完了 1台	目標		1台					
	実績		1台					

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
						H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	水難救助体制の強化(署合同訓練3回、隊別訓練49回、他機関との合同訓練2回の実施における活用)	目標				54回
		実績				62回
		目標				
		実績				

状況説明

【H30年度】  
・隊別訓練、合同訓練等水難救助に関する訓練を実施し、水難救助体制の強化を図った。

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【H30年度】  
・水難救助車内で資機材の準備、ウエットスーツの着装を行い、現場到着後、直ぐに救助活動に取り組める体制となった。また、機動性の高い水上バイクと連携し、水難事故発生時に迅速、確実な水難救助活動を展開することが可能となった。

【H30年度】  
・水難救助隊と関係機関との合同訓練に水難救助車、水上バイクを活用することで、隊員の習熟度が向上し、事故発生時の迅速な対応につながる。また、関係機関相互の連携体制がより強固なものとなると考える。

**今後の取り組み方針**(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】  
・各関係機関との合同訓練を定期的実施し、各種車両や積載資機材の取り扱いを熟知し、水難事故発生時における救急・救助体制を整える。

市町村名	名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	名護市地域公共交通基礎調査事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-(ア)
担当部課名	地域政策部	企画情報課	事業実施年度	平成29 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-11-(2)
事業内容	新たな公共交通システムに対応し、地域内滞在者の利便性向上及び産業の振興を図るため、本市における公共交通の現状把握及び課題等の調査を行う。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度				合計
	A. 予算現額	13,837				13,837
	B. 執行済額	13,672				13,672
	うち 交付金充当額	10,938				10,938
	執行率(%) (B/A)	98.8%				98.8%
執行状況の説明	不用額165千円については、委託事業者公募時の業務仕様に対する受託事業者よりの提示額が当初予算を下回ったためである。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況			
			H29年度			
	調査報告書の作成	目標	調査報告書の作成			
		実績	調査報告書の作成完了			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況			
			H29年度			
	本市の現状、課題の把握	目標	本市の現状、課題の把握			
		実績	本市の現状、課題の把握ができた			
	調査報告書の完了	目標	調査報告書の完了			
		実績	調査報告書の作成完了			
	目標					
	実績					

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					H30年度 目標/発現年度
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
事業完了後の成果目標	路線バス再編等の会議において本調査結果を活用する	目標					調査結果の活用
		実績					調査結果の活用
		目標					
		実績					
状況説明	【H30年度】 ・H30年5月に開催した名護市バス対策会議において、本調査結果を基礎資料として活用した。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・H30年5月に開催したバス対策会議について、本調査結果を区長会や交通事業者等と共有し、当市の現状や課題について議論した。	【H30年度】 ・H30年5月に開催したバス対策会議では、当市の現状と課題については議論・共有したものの、具体的な対策等の提案までは至らなかったため、本調査結果及びバス対策会議での議論を基礎とした具体的な対策を講じる必要がある。

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【H30年度】  
 ・本調査結果及びバス対策会議において課題とされた交通不便地域の対策について、当市の交通不便地域である久志地区二見以北地域にて、新たな公共交通の実証実験を令和元年度から計画している。

市町村名	名護市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	真喜屋運動広場整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ			
担当部課名	地域政策部	文化スポーツ振興課	事業実施 年度	平成 24	~ 平成 28	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H24~H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	総事業費		
	A. 予算現額	18,726	33,388	124,273	351,434	527,821		
	B. 執行済額	17,203	24,160	74,835	342,440	458,638		
	うち 交付金充当額	13,762	19,328	59,868	273,951	366,909		
	執行率(%) (B/A)	91.9%	72.4%	60.2%	97.4%	86.9%		
執行状況の説明	<small> *H24~H25年度は、H25年度に翌年度に繰越した。執行率91.9%だが、工事請負費等の入札残での不用額である。  *H26年度は、翌年度に繰越した。執行率が72.4%だが、未実施が有効と判断した一部の事業費用及び入札残での不用額である。  *H27年度は、翌年度に繰越した。執行率60.2%だが、用地買収の差額での不用額である。  *H28年度は、翌年度に繰越したが不用率が5%以内で執行できた。  *最終的な執行率は、86.9%となり概ね計画的に執行できた。 </small>							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
	実施設計実施	目標	実施設計実施					
		実績	実施設計実施					
	用地買収:2筆	目標		用地買収実施				
		実績		用地買収実施				
	整備工事の実施	目標			実施			
実績				実施				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
	実施設計完了	目標	実施設計完了					
		実績	実施設計完了					
	平成29年4月の供用開始に向けた事業の 着実な実施 (用地買収の完了:100% 9,414㎡)	目標		用地買収完了				
		実績		用地買収完了				
	真喜屋運動広場整備工事の完了	目標			完了			
実績				完了				

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	年間利用者数	目標				14,000人
		実績				9,370人
		目標				
		実績				
状況説明	【H30年度】 ・真喜屋運動広場の年間利用者数は、9,370人と目標を下回っている。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・真喜屋運動広場の年間利用者数が下回っていることについて、施設の認知度が低いことが課題である。	【H30年度】 ・真喜屋運動広場の認知度向上のために、広報活動の強化が必要である。

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【H30年度】  
 ・スポーツ関係団体と連携し、HP及び県内外での広報活動を実施することで認知度の向上を目指す。また、年間を通して大会及びスポーツ合宿の日程調整及び情報発信を行い、年間利用者数の増加を図る。

市町村名	名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	名護市食鳥処理施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ
担当部課名	農林水産部	園芸畜産課	事業実施年度	平成28 ~ 平成28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	新たな食鳥処理施設の整備に必要な用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食鳥処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度				総事業費
	A. 予算現額	328,663				328,663
	B. 執行済額	277,836				277,836
	うち 交付金充当額	222,269				222,269
	執行率(%) (B/A)	84.5%				84.5%
執行状況の説明	農業振興地域計画の総合見直しに異議申し立てがあり、当該用地取得に必要な農地転用手続きに不測の日数を要したことから328,024千円を平成29年度へ繰越して実施した。 公有財産取得費において、実施設計により建物配置等が精査されたことから用地面積が17,668㎡から16,658㎡へ縮小されたことと、土地鑑定により、土地単価が概算値より減額となったため、40,661千円の不用額が生じた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度			
	施設整備に必要な用地購入	目標	施設整備に必要な用地購入			
		実績	施設整備に必要な用地購入			
		目標				
		実績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H28年度			
	施設整備に必要な用地取得の完了 購入面積:17,668㎡	目標	完了			
		実績	完了			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度
	処理羽数	目標	15,000羽/日	15,500羽/日	16,000羽/日	16,500羽/日
	実績					
	目標					
	実績					

状況説明

【H30年度】  
 ・平成30年度は建築工事等を行っていたため、処理羽数は計測していない、令和元年7月から供用開始しているため令和元年の目標値は15,000羽/日とした。

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【H30年度】 ・施設整備事業の完了予定であったが、台風や県内の慢性的な職人不足の影響等により平成31年度へ繰越となり、令和元年7月より供用開始となっている。今後は協業化に伴う効率化、最新機器による処理・加工により衛生的で安全な県産鶏肉の処理羽数増加に期待できる。  【 年度】 ・  【 年度】 ・	【H30年度】 ・R1年7月供用開始。今後は施設の指定管理者や関係機関と協力し成果目標達成に努める。  【 年度】 ・  【 年度】 ・
---	---

**今後の取り組み方針**(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】  
 ・定期的な施設利用状況の確認や収支決算書等の確認を行い、関係機関と協力しながら成果目標達成に努める。

【 年度】  
 ・

【 年度】  
 ・